

エチオピア月報(2016年12月)

主な出来事

【内政】

- 21日:エチオピア政府は、非常事態宣言下で拘禁された人のうち、9,800人の釈放を発表。

【外政】

- 6日:ウォックナー外相は、エチオピア訪問中の尹炳世・韓国外交部長官と会談。
- 9日:南スーダン及びソマリア情勢に関する政府間開発機構(IGAD)臨時首脳会合開催。
- 20日:ヨナス外務省国務大臣が許鏡湖・アフリカ担当中国特別代表と会談。

【経済】

- (日時不明) 昨年度に経済成長率が8%に低下し、10年で最も低い成長率を記録した。

【内政】

- 11月30日、メレラ(Merera Gudina)オロモ連邦評議会(Oromo Federalist Council)代表兼野党連合MEDREK副代表が非常事態宣言違反の容疑で逮捕された。(1日、アル・ジャジーラ)
- 21日、エチオピア政府は、非常事態宣言下で拘禁された人のうち、9,800人の釈放を発表した。(21日、Voice of America)

【外政】

- 11月30-12月1日、ハイレマリアム首相及びウォックナー外相は、AUC委員長選挙に立候補しているアミナ・モハメド・ケニア外務長官と面会した。(1日、3日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency)
- 6日、ウォックナー外相は、エチオピア訪問中の尹炳世・韓国外交部長官と会談した。(7日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency)
- 7日、第4回韓国・アフリカ・パートナーシップ・フォーラムがAU本部にて開催された。(9日、外務省)
- 8日、ムラトゥ大統領は、ペゾッティ・アフリカの角担当伊特使の表敬を受けた。(9日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency)
- 9日、アディスアベバにて政府間開発機構(IGAD)臨時首脳会合が開催され、南スーダン及びソマリア情勢につき協議された。(9日、外務省)
- 9日、ハイレマリアム首相は、ファドリー・サウジアラビア農業水資源・環境大臣の表敬を受けた。(10日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency)
- 15日、ウォックナー外相は、ケイ・アフリカの角担当英特使一行と面会した。(15日、EBC、外務省)
- 15日、エチオピアと米は、第7回民主主義・統治・人権作業部会会合をアディスアベバにて実施した。(19日、在エチオピア米大使館)

- 20日、ヨナス外務省国務大臣は、許鏡湖・アフリカ担当中国特別代表と会談した。(20日、外務省)
- 20日、国賓としてエチオピア滞在中のサウジアラビア代表団一行が、グランド・エチオピアン・ルネサンス・ダムを視察した。(20日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency、外務省)
- 20日、ムラトゥ大統領及びハイレマリアム首相は、ムハンマド・カタール外相一行の表敬を受けた。(21日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency、外務省)
- 28日、ムラトゥ大統領は、ゼイベキチ・トルコ経済大臣の表敬を受けた。(28日、外務省)

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- (日時不明) 昨年度の経済成長率が8%にまで低下し、10年で最も低い成長率を記録した。政府は、昨年度のエルニーニョによる最悪の干ばつ被害を受けたためと分析している。(5日、The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピアの11月のインフレ率は前年の5.6%から7.0%に上昇した。中央統計局は、11月の食料品のインフレ率が10月の3.4%から6.1%に上昇したことによるものと分析している。(12日、The Daily Monitor)

2. 貿易・投資・ビジネス

- 6日、アメリカ商工会議所(AmChams)のエチオピア事務所が開設された。(11日、Capital)
- (日時不明) 中国企業 Neoglory Company と現地の投資家は、合併でエチオピア最大のパルプ・紙パッキング工場を設立する契約を締結した。両者は2億9,600万ブルの資本を投入し、1年以内に工場建設を完了することに合意した。(19日、The Daily Monitor)
- 28日、第7回エチオピア・トルコ・ビジネス投資フォーラムが開催された。(29日、Ethiopian Herald、Ethiopian Press Agency)

3. エネルギー

- (日時不明) エチオピア配電公社(EEU)と中国のHuawei及び中国電力技術装備(CET)は、エチオピアにおける次世代送電網の構築に合意した。2社は電力公社との経験を共有し、東アフリカ諸国における次世代送電システムの構築を支援する。(8日、The Daily Monitor)
- (日時不明) 中国保利集团公司(Poly-GCL)は、ソマリ州オガデンで石油・天然ガス探査事業を開始した。当事業は37億米ドルで実施される。(17日、The Reporter)
- 17日、Gilgel Gibe III水力発電所は1,870MWの容量で運転開始した。同発電所の総工費は15億ユーロ、うち40%が政府が出資し、残りは中国工商银行から融資される。(18日、The Ethiopian Herald)

4. 工業・運輸

- (日時不明) チャイナ・マーチャント・グループ(CMG)の子会社であり、中国国有企業のチャイナ・マーチャント・ホールディングスは、エチオピア国有企業 Ethiopian Shipping & Logistic Service Enterprise(ESLSE)の40%以上の株式取得を熱心に追求しており、ESLSEの資産価値を評価するため、デューデリジェンス・ワークを行っている。ESLSEは海上輸送及びドライポートの事業を展開し、エチオピアの物流事業をほぼ独占している。(4日、Fortune)
- (日時不明) アフリカ開発銀行(AfDB)は、240kmの砂利舗装区間を全天候型アスファルトコンクリート舗装に更新するため、エチオピアに9,290万米ドルを融資することを承認した。(12日、The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピアとジブチは、両国間で新しい鉄道を運営する合弁会社設立に合意した。同社はアディスアババに本社を持ち、756kmのルートで旅客、貨物およびメンテナンスサービスの提供を担当する。(14日、The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア航空はアフリカ開発銀行(AfDB)から1億5900万米ドルの融資を受け、航空路線拡張と機材更新計画の一部に活用する。(19日、The Daily Monitor)

5. その他

- 5日、南部諸民族州のTsayte Woredaにおいて、日本による給水・衛生プロジェクトが開始した。同プロジェクトで3つの給水場、31の洗面所、5つのトイレを整備し、関連する技術指導を行う。(9日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 小規模農家が大多数を占めるエチオピアの農業分野を改善するため、日本政府はエチオピア政府当局と定期的にハイレベルの政策対話を実施する。(10日、The Reporter)

6. 各国動向

- (日時不明) エチオピアと中国は、母子保健、医療大学院プログラムの拡充、医療機器の寄贈に協力する覚書を締結した。また、同協定により、中国政府がTirunesh Beijing病院に心理臨床センターを設置される。(4日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 国連食糧農業機関(FAO)は、新たな干ばつがエチオピア南西部で発生し、現在約970万人のエチオピア人が援助を必要としており、その数の増加が見込まれると発表した。(5日、The Daily Monitor)
- (日時不明) イタリアと国連人口基金(UNFPA)は、エチオピアにおける女性の権利向上のためのプロジェクトに関する協調融資契約に調印した。同プロジェクトは16ヶ月後に実施され、50万ユーロの費用が見込まれる。(5日、The Daily Monitor)
- (日時不明) 国際農業開発基金(IFAD)とエチオピアの間で小規模灌漑計画を推進する財政協定が締結され、4地域108,750世帯に適用される。当計画の総費用1億4530万米ドルのうち、IFADは1億200万米ドルの融資と1250万米ドルの助成金を提供する。(8日、The Daily Monitor)

- (日時不明) エチオピアとデンマークは、エチオピアの再生可能エネルギー発電の多様化への取組を支援するために、8,900万ブルの援助契約を締結した。(9日、The Daily Monitor)